SONY

テレビを楽しく正しく安全にご覧いただくための

使用上のご注意

- ご使用の前にこの「使用上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

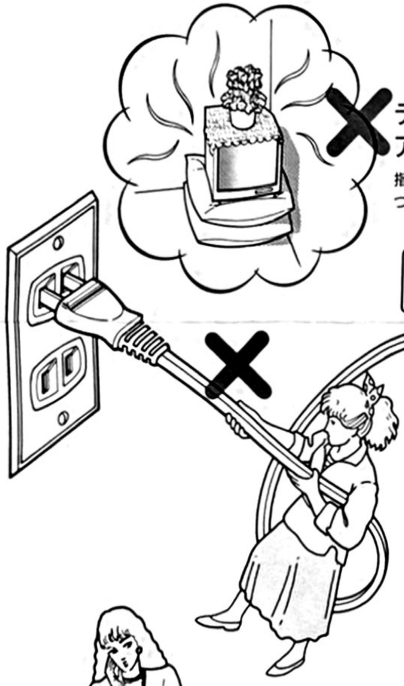
安全上のご注意

火災や感電を防ぐために必ずお守りください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

風通しの悪い場所に置かない

壁から10cm以上離してください。
また、テーブルクロスをかけたり、ふとんの上に置いたりして、通風孔をふさぐと、火災や故障の原因となります。



テレビのACアウトレットには

指定の消費電力以上の機器をつながないでください。

裏ぶたをあけない

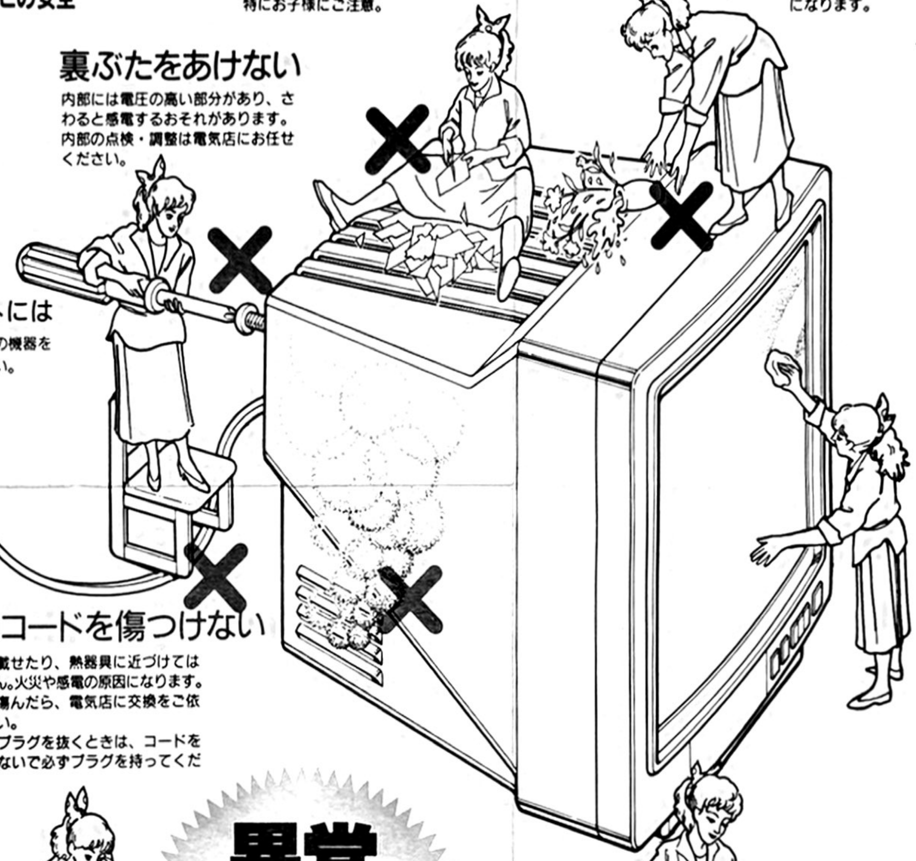
内部には電圧の高い部分があり、さわると感電するおそれがあります。内部の点検・調整は電気店にお任せください。

異物を入れない

金属類や燃えやすいものを、通風孔などから入れないでください。万一内部に異物が入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、電気店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
特にお子様にご注意。

水は禁物

水の入った花びんやコップをテレビの上に置かないでください。
万一内部に水が入った場合は、差し込みプラグをコンセントから抜いて、電気店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



電源コードを傷つけない

重い物を載せたり、熱器具に近づけてはいけません。火災や感電の原因になります。
コードが傷んだら、電気店に交換をご依頼ください。
差し込みプラグを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持ってください。

長時間の外出や旅行のとき

テレビをご使用にならないときは、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

異常

音は出るが画面が映らない、煙が出ている、変な音やにおいがするなどのときは、**すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いて、**電気店に修理をご依頼ください。

お手入れ

お手入れの際は、必ず差し込みプラグを抜いてください。

ブラウン管の表面はほこりがつきやすいので、乾いた柔らかい布で

表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

ベンジンやシンナーでふかない

変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

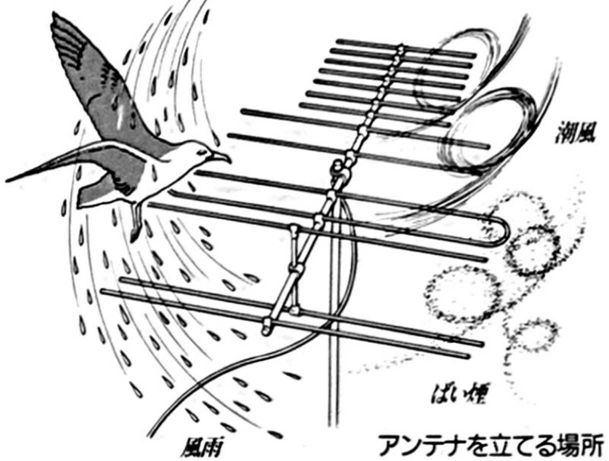
キャビネットは乾いた柔らかい布で

汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。

年に一度は内部の掃除を電気店にご相談ください。

火災、故障を防ぎます。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

アンテナについて



アンテナを立てる場所

妨害電波の影響を受けないよう、**次のような場所は避けてください。**
万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

- 交通頻繁な所
- 電車の架線・送配電線の近く
- ネオンサインの近く

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、電気店にご相談ください。
アンテナ線には同軸ケーブルを使用すると妨害の少ない良好な画像が得られます。

定期的に点検と交換を

アンテナは屋外にあるため、傷みやすい環境になっています。映りが悪くなったら電気店にご相談ください。

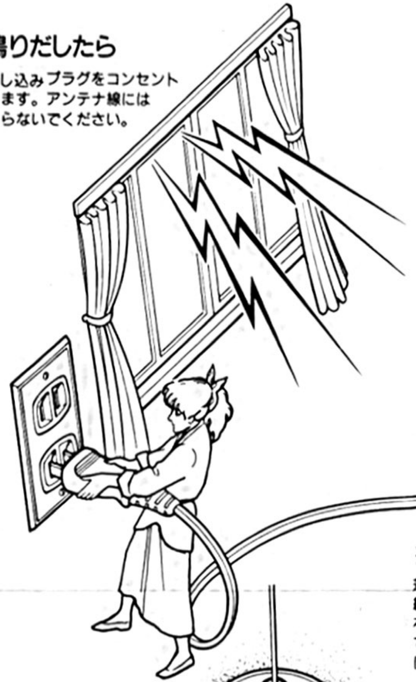
ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35　お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●東京(03)3448-3311 ●大阪(06)251-5111 ●名古屋(052)232-2611　Printed in Japan ©1983 4-491-664-02 (5)

裏面も必ずお読みください。

日常の心がけ――安全にお使いいただくために

雷が鳴りだしたら

早めに差し込みプラグをコンセントから抜きます。アンテナ線には絶対に触らないでください。

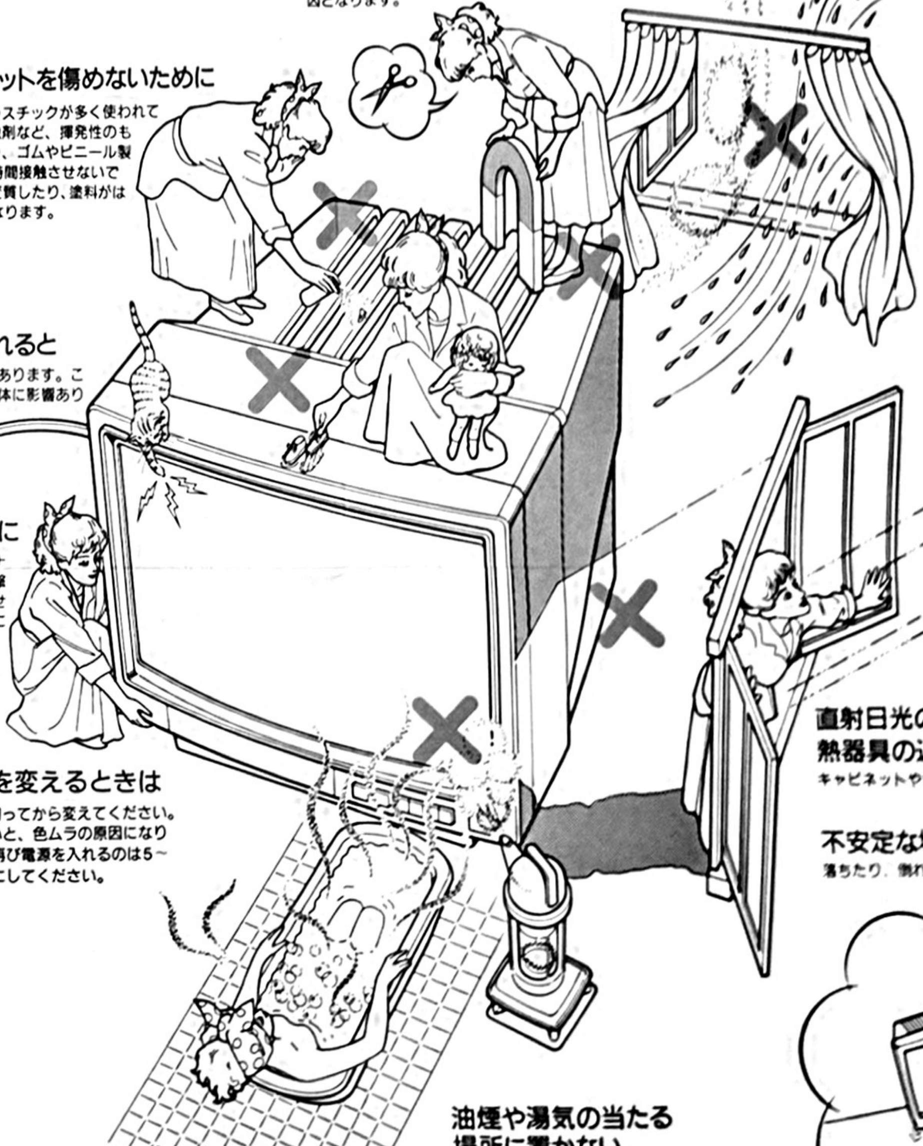


キャビネットを傷めないために

表面にはプラスチックが多く使われています。殺虫剤など、揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげる原因になります。

磁石を近づけない

色が乱れたり、画面が揺れたりする原因となります。



ブラウン管にふれると

弱い電気を感じることがあります。これは静電気のためで、人体に影響ありません。

持ち運びは慎重に

差し込みプラグやアンテナ線などを抜いてから、衝撃を与えないように移動させてください。ブラウン管には特にご注意。

向きを変えるときは

電源を切ってから変えてください。切らないと、色ムラの原因になります。再び電源を入れるのは5～10分後にしてください。

適度の明るさのなかでご覧ください

お部屋が暗すぎると目が疲れます。

重い物を載せない、踏み台にしない

倒れたり、こわれたりして危険です。特にお子様にご注意。

見やすい位置は

画面のタテの長さの5～7倍の距離(20型で約2m、14型で約1.5m)が適当です。画面の位置は目よりやや低い方が見やすくて、疲れません。

テレビを置く場所

湿気やホコリの多い場所、虫(ガやゴキブリなど)の侵入しやすい場所に置かない

故障の原因になります。

異常に高温な場所に置かない

窓を閉めきった自動車内(特に夏期)などに放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因になります。

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くに置かない

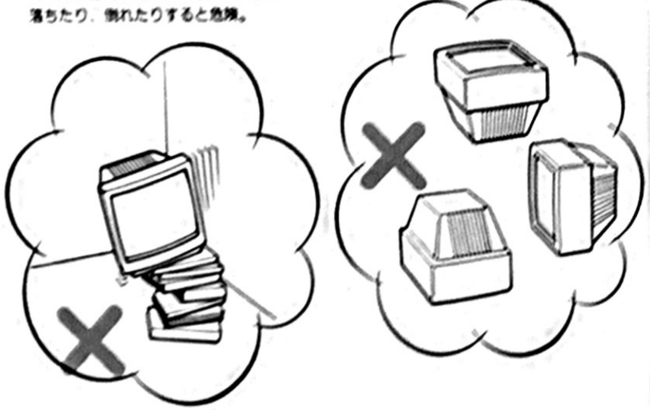
キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりすると危険。

上向きや逆さま、横倒しにはしない

故障の原因となります。



油煙や湯気の当たる場所に置かない

故障の原因となります。